



Title	語文 第37輯 編集後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1980, 37
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68670
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

『手繰舟』影印は今回で完了したので、永野仁氏をわずらわして解説を付した。同氏の御多端のなかの労に感謝したい。

他の三篇の論文は、いずれも若い研究者のもの、それも、たまたま現代語に関するものばかりになった。佐竹久仁子論文は、指示詞「それ」の省略に関するもので、指示語の機能の問題と、文脈上の語句省略の問題とをからめた着想のもの。鄭秀賢論文は、受身表現に関する日韓両国語の対照研究で、その異同を追求して、今後一層発展すべき当該分野における一つの礎石を置こうとするもの。米川明彦論文は、言語研究の対象としての手話の研究、あるいは、手話言語の特性を明らかにしようとする考察の第一歩を踏もうとするものである。

若い芽を育て鍛える一つの機会を与えられたことを、本人たちとともに喜ぶと同時に、学界のきびしい批評を仰ぎたいとおもう。

次号は記念特集号の予定。なお、毎回のことながら、諸賢のさかんな投稿を期待したい。

(宮地裕)

投稿規定

○直接購読者は投稿することができる。

○原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百字詰原稿用紙三十枚以内とする。

○原稿の送り先は「〒五六〇豊中市待兼山町一大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯委員」宛。

○原稿の採否は編輯委員に一任のこと。

○採用しなかった原稿は返送料が添附してあれば返送に応ずる。

○一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

△雑誌の寄贈・交換・購読について

○雑誌の寄贈・交換・購読は〒五六〇豊中市待兼山町一大阪大学文学部国文学研究室宛に願いたい。

(振替 電話 大阪 四三三二〇)
〇六(替)一五二一

ISSN 0387-4494

¥ 600

発行所 〒542 大阪市南区横堀7丁目19 文進堂 振替大阪112730番 電話(06)(251)1990番
編輯者 〒560 大阪府豊中市待兼山町1-1 大阪大学文学部国文学研究室 代表 田 中 裕